

事務事業名	(仮称)加茂BSスマートIC整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	スマートIC整備G	課長名	小村利之
施策名	(13)広域幹線道路の整備	担当者名	富山 照夫	電話番号	0854-40-1064
目的	対 道路(国道・県道、高速道路)利用者 意 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動できる。	予算科目	会計 014008 款 大 01 目 大 01 中 01 業 業 名 名	(内線)	2461
基本事業名	(037)国道・高速道路の整備促進				国道・県道整備事業
目的	対 道路利用者 意 安全で便利に国道・高速道路を利用する。				高速道路整備関連事業

1 現状把握[DO]

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 29 年度～ 34 年度 )
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) (事務事業の概要) (仮称)加茂BSスマートIC開設に向けて、関連市道、バスストップを整備する。 ○(仮称)市道神原企業団地線 延長 L=550m、幅員W=9.75m ○(仮称)市道加茂インター線 延長 L=150m、幅員W=8.50m ○加茂バスストップ 駐車場、待合所等 A=3,000㎡

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) ・測量調査設計 ・用地測量調査	30年度計画(30年度に計画する主な活動) ・測量調査設計 ・用地測量調査 ・用地買収			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 整備延長	m	0	0	0	0
	イ 供用延長	m	0	0	0	0
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	高速道路利用者	ア 高速道日平均通行台数	台	5,522	5,379	5,304	5,500
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	市内IC数を増やし、高速道路利用者の利便性を高める	ア 市内IC数	箇所	3	3	3	3
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
委託料 15,100千円 負担金 2,290千円 事務費 600千円	財源内訳	千円			10,808	30,791
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円			6,800	25,200
	その他	千円				17,914
	一般財源	千円			382	2,879
	事業費計(A)	千円			17,990	76,784
	人件費	人			2	
	正規職員従事人数	時間			960	
	延べ業務時間	千円			3,914	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			21,904	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
当スマートIC設置に向けて、「(仮称)加茂BSスマートIC地区協議会(構成:国、県、NEXCO、地域自主組織、商工会、きらきら雲南、市)」をH29.7.5に設立し、実施計画書を国へ提出した。国よりH29.7.21に事業決定、H29.8.4に連結許可を受けた。	国土交通省、島根県、NEXCOと協議をしながら進めている。建設コスト削減を目指して、設計に取り組んでいる。NEXCOとは毎月担当者会議を開催し、工程調整等を行い、事業促進を図っている。	実施計画書において、スマートICはH34年度上半期の供用開始を予定している。整備効果として隣接する神原企業団地への企業立地や周辺の文化・スポーツ施設・観光地へのアクセス向上による利用促進を目指す。

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ICの配置は設計要領による基準があり、神原企業団地と加茂町の文化・スポーツ施設へのアクセスを目的としており、また地理的条件からほかの適地がないため。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 加茂BSスマートICが開設できない。また、神原企業団地への企業立地に影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 類似事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 測量・設計については業務委託をしているが、積算や用地交渉、地区協議会の運営等は直営でなければならない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 加茂BSスマートIC整備への取り組みについては、神原企業団地造や観光産業など市内全域が対象となることから、高速道路の活用により雲南市全域が受益対象者となる。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 国土交通省・NEXCOと協議しながら、建設コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。
-------------------	---	---

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
スマートIC整備促進のほか、スマートICの利用促進と活用に向けた取り組みも必要である。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		